

# 延岡と佐伯の食をPR

## 1/6 地産地活マルシェ 来場者、グルメを堪能

延岡市と天分県佐伯市の食の魅力をPRする「おいしいのべおか地産地活マルシェ」が13日、



多くの来場者でにぎわった「おいしいのべおか地産地活マルシェ」

延岡市役所第一駐車場で開催された。両市の農水産物や加工品、それらを使った料理の販売、振る

舞いなどがあり、多くの来場者でにぎわった。

「延岡市役所前に延岡・佐伯のごちそうが大集合」をテーマに、両市の生産者や料理人などが約30店を出店。こだわりの食材と店自慢の料理などを販売したほか、伊勢えびのみそ汁や、ブランド魚の刺し身の振る舞い（いずれも200食）には長い行列ができた。

ほかに、豊かな延岡の海で育った魚を観察できる「まちなか水族館」や、周辺に設けられた4カ所のチェックポイントでクイズを解くと景品がもらえる「まちなかクイズラリー」などのイベントもあり、家族連れに人気を集めた。

同マルシェは、両市が

食の魅力を生かした地域活性化を目指す「東九州バスカ化構想」に基づいて開催。当初は2日間を予定していたが、台風19

号の接近に伴って1日のみ開催となった。親子で来場していた市内の会社員女性（43）は「おいしいものをいろいろ食べておなかいっぱい。ブランド魚の振る舞いもおいしく、グルメを満喫できた。スタンプラリーも楽しかった」と笑顔だった。